

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2021年9月16日朝刊中部版



展示が始まった徳川家康が関ヶ原の戦いで着用した甲冑「歯朶具足」
 静岡市駿河区の久能山東照宮博物館

家康 関ヶ原の戦いで着用 甲冑「歯朶具足」5年ぶり展示

静岡市駿河区の久能山東照宮博物館で15日、徳川家康が関ヶ原の戦いで着用した甲冑（かっちゅう）「歯朶具足（しだぐそく）」の展示が約5年ぶりに始まった。旧暦1600年9月15日は、関ヶ原の戦いが起こった日とされている。展示は12月初旬までの予定。

「歯朶具足」は徳川家にとって吉祥の具足と呼ばれており、国の重要文化財に指定されている。通常の甲冑より鉄の厚

久能山東照宮博物館

みがあり、約22キロと重い。かぶとの形が大黒様のずきんの形を模しているのが特徴で、家康が夢に出てきた甲冑を作らせたことから「御夢想形」とも言われている。

展示では、甲冑の背後に鏡を設置し、通常はあまり見ることができない背面を見ることができる。同博物館は唯一、徳川15代全甲冑を収蔵しており、文化財の保護を図りながら甲冑を入れ替え随時公開を行っている。年中無休。（写真部・二神亨）

①記事の甲冑は「誰が」「何の時に」着用したのですか。

誰（ **徳川家康** ） 何の時（ **関ヶ原の戦い** ）

②この甲冑の重さはどれくらいありますか。（ **約22キロ（グラム）** ）

③この甲冑の価値はどのような点にあると思いますか。記事から読み取って40字以内で書きましょう（句読点を含みます）。

（例）徳川家にとって吉祥の具足と呼ばれており、国の重要文化財に指定されている点。（37字）
かぶとの形が大黒様のずきんの形を模している甲冑で、家康の夢に出てきた点。（36字）
家康が夢に出てきた甲冑を作らせたことから、「御夢想形」とも言われている点。（37字）
など

年 組 名前